

AI が開く未来社会の門 — その先は天国か地獄か？ — (Opportunities and Challenges of the AI-based Society)

最近世間を騒がせている人工知能（AI）。ゲームや将棋、クイズのほか産業界での応用も進みつつあり、ますます便利になる一方で、いつの日か人間にとって代わってしまうのではないかと漠然とした不安もよぎります。本シンポジウムでは、単なる AI の輝かしい未来だけではなく、AIの抱える問題や今後の社会の在り方について、広い見地からパネルディスカッションを行います。なお、本シンポジウムは学生、社会人どなたでも参加可能（参加費無料）です。参加申し込みは本ポスターの下部に案内があります。多くの方の参加をお待ちしております。

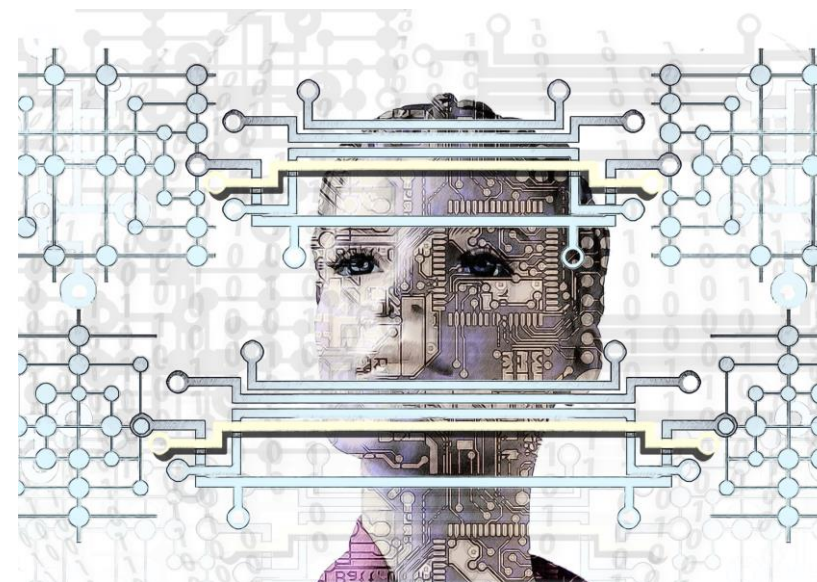
開催日時 : 平成29年11月26日（日曜）12:00～17:55（11:30 開場）
開催場所 : 大東文化会館 1Fホール（東武東上線 東武練馬駅 徒歩3分）
参加費 : 無料

基調講演 “AI Opens the door? Toward Heaven or Hell?”（通訳有）



Prof. Karamjit S. Gill (University of Brighton)

ブライトン大学名誉教授。ジャーナル「AI & Society」の創始者・編集長。技術と人間の領域に関心を持ち続け、人間中心システム（HCS）の立場から ICT がもたらす社会への影響について研究を行っている。



講演



木嶋 恭一（大東文化大学経営学部 特任教授）

AI をすべての人々の幸せを生み出す真の社会インフラとして能動的に利活用する

1980年東工大大学院理工学研究科博士課程修了，工学博士。同大学院社会理工学研究科教授等を経て2016年より現職。同大学名誉教授。現在の専門は社会システム工学，システムモデリング，意思決定システム科学，サービスシステム科学。



比屋根 一雄（三菱総合研究所 先端技術研究センター長）

AIはブームを超え、社会実装段階に入る

1988年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了，1988年（株）三菱総合研究所入社，情報技術研究センター長，公共ソリューション本部長等を経て2016年より先端技術研究センター長。AIを中心とした先端的情報処理技術の研究開発や調査研究・事業開発に従事



和田 芳明（NTTデータシステム技術株式会社 日銀システム事業部）

利用環境整備とリスクマネジメントへの備えを固めることで、AIはその真価を発揮する

1982年日本銀行入行。2010年NTTデータシステム技術入社。XBRL、XML、J-SONなどに対応した新しい金融テクノロジーの開発に従事。XBRL International 理事等を歴任。現在、XBRL Asia Round Table 議長。



内山 研一（大東文化大学経営学部 教授）

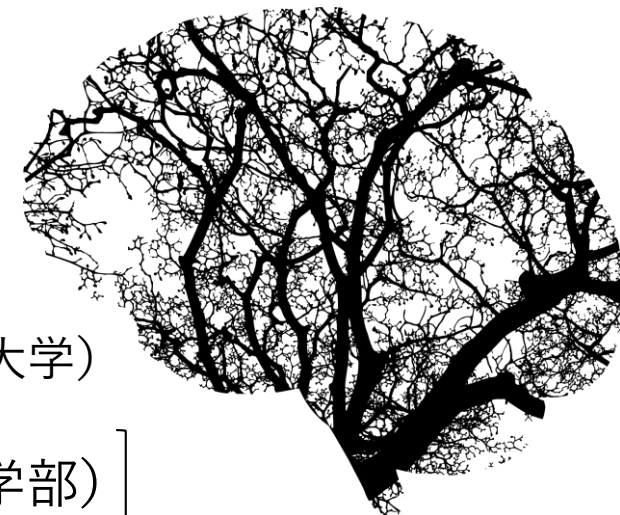
「AIを使うとはどういうことか」をAIに聞いてみる

1949年生。早大理工学部卒業後、日本IBMなどを経て渡英。ロンドン大学政治経済学院（LSE）で博士号を取得。専門はソフトシステム方法論（SSM）、アクションリサーチ。ITやAIが社会にもたらすインパクトを批判的に研究している。

パネルディスカッション 「第三次AIブームは本物か？」

木嶋恭一（大東文化大学），比屋根 一雄（三菱総合研究所），
和田芳明（NTTデータシステム技術），内山 研一（大東文化大学），樋渡 淳二（大東文化大学）

総合司会 : 渡邊直人（大東文化大学経営学部）
パネル司会 : 白井康之（大東文化大学経営学部）



参加申し込み、またシンポジウムの詳細スケジュール・講演者のプロフィールについては、以下をご覧ください。
申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

<http://goo.gl/y8wNcG>



主催：大東文化大学経営研究所
共催：大東文化大学経営学部
協賛：大東文化大学経営学会
後援：（一社）経営情報学会，国際ICT利用研究学会
連絡先：大東文化大学 経営学部事務室
TEL：03 - 5399 - 7462，Email：daito.keiei@gmail.com